

長生稲作情報 第2報

(2021年6月7日発行)

長生農業事務所 改良普及課
電話 0475-22-1771

◎長生地域の生育状況

前回（5月20日）の調査日以降は、天気の良い日が多く、気温も平年並から高い日もあったことからこの間で茎数が大幅に増加しました。特に早生品種では「中干し」のタイミングを迎えています。圃場・栽培条件によっては、茎数がやや少ない圃場も散見されますが、必要茎数（別紙参照）が確保できたら、速やかに「中干し」に移行しましょう。「中干し」は過剰分けつ抑制や根の活力向上等の効果があります。田面に軽くヒビが入る程度に干し、幼穂形成期頃になったら速やかに入水しましょう。

なお、両総用水の止水期間は、6月16日から6月30日までの予定です。

表1 主要品種生育調査ほ施肥設計

品種	基肥 (kg/10a)					追肥 N	栽植密度 (株/m ²)	植付 本数
	施用方法	現物	N (速効：緩効)	P	K			
ふさおとめ	全層	40	5.6 (5.6：0)	7.2	5.6	—	19.6	5.5
ふさこがね	側条	30	7.2 (2.0：5.2)	4.2	3.3	—	18.1	4.0
コシヒカリ	全層	40	5.6 (5.6：0)	7.2	5.6	—	18.1	4.7
粒すけ	側条	45	9.0 (4.0：5.0)	5.4	6.3	1.2	18.5	3.0

表2 主要品種生育調査結果（調査日：5月31日）

品種	場所	年	移植日	葉令	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	単葉葉色 (SPAD値)
ふさ おとめ	茂原市 (長尾)	2021	4月11日	10.3	45	27.1	531.2	39.7
		参考値	4月15日	8.9	40	33.3	563.0	39.7
		県平均	4月22日	8.5	35	23.1	446.5	42.1
ふさ こがね	茂原市 (七渡)	2021	4月15日	9.1	38	23.9	432.6	42.4
		参考値	4月17日	7.8	35	24.6	419.5	44.0
		県平均	4月21日	8.4	35	20.2	362.4	41.9
コシ ヒカリ	茂原市 (長尾)	2021	4月13日	8.9	45	28.0	506.8	43.2
		参考値	4月15日	8.5	43	33.1	556.5	41.9
		県平均	4月22日	8.1	38	20.9	364.2	39.4
粒すけ	長生村 (信友)	2021	5月4日	—	31	11.9	220.2	43.1
		県平均	5月2日	7.5	28	15.4	255.2	40.3

※参考値は、同調査地点の「ふさおとめ」過去5か年、「ふさこがね」過去2か年、「コシヒカリ」過去3か年の平均値です。また、県平均は今年度の県内他調査地点の平均値です。

◎長生地域の幼穂形成期及び出穂期の予測について

幼穂形成期とは、主稈における長さ1mm以上の幼穂の割合が80%となった時のことを言います。幼穂形成期から出穂期（出穂する稈のうち、約50%が出穂した時点）までの日数は25日程度です。幼穂形成期を知ることによって追肥や斑点米カメムシ防除のタイミングを予測することができます。幼穂の確認方法は別紙を参照してください。

今年度の長生地域の幼穂形成期の予測は以下の表のとおりです。本予測は今後の天候状況等により誤差が生じる可能性があるため、あくまで目安としてください。

表3 長生地域の幼穂形成期及び出穂期の予測

品種	ふさおとめ		ふさこがね		コシヒカリ		粒すけ	
	移植日		移植日		移植日		移植日	
移植日	4/20	5/1	4/20	5/1	4/20	5/1	4/20	5/1
幼穂形成期	6/14	6/18	6/15	6/20	6/23	6/28	6/22	6/28
出穂期	7/9	7/13	7/10	7/15	7/18	7/23	7/17	7/23

※令和元年度試験研究成果普及情報の推定式により気象データ(アメダス茂原)から計算した推定値。

移植時の苗の葉令、活着状況、ほ場ごとの気象条件、予測日以降の気象条件等による誤差あり。

◎農作業中の熱中症に注意しましょう！！

農作業中の熱中症による死亡事故は、日中の最高気温が30℃を超える日が多い7～8月に多く発生する傾向がありますが、6月でも発生しています。全国の死亡者数は10年間(平成22年～令和元年)で251人となっています。年代別では、70代以上が約85%を占めますが、20～50代でも死亡例があります。

熱中症の危険度は気温ではなく、暑さ指数(WBGT)を見て判断しましょう。暑さ指数とは、気温、湿度、輻射熱(日差し等)からなる熱中症の危険性を示す指標です。

熱中症が疑われる場合の処置は以下のとおりです。

(1) 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

代表的な症状は、「汗をかかない、体が熱い」「めまい、吐き気がする」「手足がしびれる」などですが、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性ががあります。

(2) 応急処置

- ・涼しい環境へ避難し、服をゆるめて風通しをよくしましょう。
- ・脇の下、両側の首筋、足の付け根を中心に体を冷やしましょう。
- ・水分、塩分を補給しましょう。

(3) 病院で手当を受けましょう

意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくなる場合は、すぐに病院で手当を受けるようにしてください。